一般貸切旅客自動車運送事業法令試験問題

令和8年10月実施

【注意事項】

1. 試験時間は、40分です。

2. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないでください。

3. 問題用紙は、表紙を含めて5枚です。

4. 問題用紙は、持ち帰らないでください。

5. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
   なお、試験は不合格になります。

6. 解答が終わり途中退室を希望される方は、挙手にて係員にお知らせください。
   係員が試験問題等を回収した後、他の受験者の迷惑とならないよう静かに退出ください。

※携帯電話等の電源は他の受験者の迷惑となりますので、必ず電源をお切りください。

近畿運輸局

一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令知識について

・以下の各設問の（ ）内に、関係法令を踏まえ、最も適切な語句を〔 〕から選択し、別紙の解答用紙に記入してください。

---

1. 一般貸切旅客自動車運送事業の運転者の1日の（　　）は、勤務終了後、継続11時間以上与えるよう努めることを基本とし、継続9時間を下回ってはならない。

［A. 休暇期間　B. 休憩期間　C. 休息期間］

---

2. 旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、事業用自動車の運転者の（　　）及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

［A. 休憩時間　B. 勤務時間　C. 出勤時間］

---

3. 運転者の連続運転時間は（　　）時間が限度である。

［A. 2　B. 3　C. 4］

---

4. 旅客自動車運送事業者は、（　　）以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。

［A. 二月　B. 六月　C. 一年］

---

5. 「旅客自動車運送事業」とは、（　　）に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。

［A. 自己の目的　B. 自治体等の要請　C. 他人の需要］

---

6. 旅客自動車運送事業者は、運転者として新たに雇い入れた者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた（　　）を受けさせなければならない。

［A. 指導教育　B. 健康診断　C. 適性診断］

---

7. 旅客自動車運送事業者は、苦情を申し出た者に対して（　　）、弁明しなければならない。

［A. 誠実に　B. 時間を定めて　C. 遅滞なく］

---

8. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、アルコール検知器を用いて運転者の酒気帯びの有無について確認を行うときは、当該確認に係る呼気の検査を行っている状況の写真（当該運転者を識別できるものに限る。）を撮影して電磁的方法により記録媒体に記録し、かつ、その記録を（　　）保存しなければならない。ただし、当該状況を録画する場合はこの限りでない。

［A. 六十日間　B. 九十日間　C. 百二十日間］

---

9. 一般旅客自動車運送事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合のほか、（　　）に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。

［A. 運行管理規程　B. 就業規則　C. 事業計画］

---

10. 一般旅客自動車運送事業者は、輸送の安全の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の（　　）に努めなければならない。

［A. 向上　B. 維持　C. 確保］

---

11. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る乗務員等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを（　　）保存しなければならない。

［A. 一年間　B. 三年間　C. 五年間］

---

12. 一般旅客自動車運送事業を経営しようとする者は、国土交通大臣の（　　）を受けなければならない。

［A. 承認　B. 許可　C. 免許］

---

13. 一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の（　　）を受けなければ、その効力を生じない。

［A. 許可　B. 認可　C. 承認］

---

14. 旅客自動車運送事業者は、（　　）の責務を定めることその他国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。

［A. 経営の責任者　B. 事業の責任者　C. 運行の責任者］

---

15. 一般旅客自動車運送事業者は、一般旅客自動車運送事業の健全な発達を（　　）結果を生ずるような競争をしてはならない。

［A. 助長する　B. 阻害する　C. 確保する］

---

16. 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の一日の拘束時間は十三時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、拘束時間の上限は(　　)とすること。

［A. 十五時間　B. 十六時間　C. 十八時間］

---

17. 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、安全や(　　)の向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進することを目的としている。

［A. コンプライアンス　B. 安心　C. 利用者サービス］

---

18. 旅客自動車運送事業者は、苦情の申出を受け付けた場合には、営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して(　　)保存しなければならない。

［A. 半年間　B. 一年間　C. 三年間］

---

19. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している(　　)適切な処置をしなければならない。

［A. 事業者のために　B. 旅客のために　C. 乗務員等のために］

---

20. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の運賃及び料金を定め、(　　)国土交通大臣に届け出なければならない。これを変更しようとするときも同様とする。

［A. あらかじめ　B. 事後に　C. 運送開始前に］

---

21. 一般旅客自動車運送事業者は、(　　)の変更をしようとするときは、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

［A. 運行計画　B. 事業計画　C. 運行回数］

---

22. 一般旅客自動車運送事業者は、営業所ごとに配置する事業用自動車の数の変更をしようとするときは、あらかじめ、(　　)を国土交通大臣に届け出なければならない。

［A. 事業計画変更事前届出　B. 運行計画変更事前届出　C. 業務計画変更事前届出］

---

23. 旅客自動車運送事業の事業用自動車の運転者の要件は、(　　)以上(受験資格の特例教習の修了者を除く)であり、第二種免許を取得し、その効力が停止されていないこと。

［A. 十八歳　B. 二十一歳　C. 二十四歳］

---

24. 道路運送法の目的は道路運送の（　　）の利益の保護及びその利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もつて公共の福祉を増進することである。

［A. 利用者　B. 事業者　C. 申請者］

---

25. 自動車の（　　）は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備することにより、当該自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。

［A. 所有者　B. 使用者　C. 運転者］

---

26. 旅客自動車運送事業者は、天災その他の理由により輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車の（　　）に対する必要な指示その他輸送の安全のための措置を講じなければならない。

［A. 乗務員等　B. 旅客　C. 車両］

---

27. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、（　　）ごとにその更新を受けなければ、その期間の経過によつて、その効力を失う。

［A. 三年　B. 五年　C. 七年］

・以下の文章のうち正しいものには〇印を、誤っているものには×印を別紙の解答用紙に記入してください。

---

28. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客自動車運送事業運輸規則に基づき業務記録を6月間保存しなければならない。

---

29. 一般旅客自動車運送事業者は、事前に届出を行えばその名義を他人に利用させてもよい。

---

30. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送約款を変更するときは、30日前までに届け出なければならない。

一般貸切旅客自動車運送事業の法令試験の解答用紙

採　　点
点

申請者名

受験者名

（問題1～27は【A・B・C】のいずれかを記入してください。）

問題　1	問題　2	問題　3	問題　4	問題　5	問題　6	問題　7	問題　8	問題　9
C	B	C	A	C	C	C	B	C

問題　１０	問題　１１	問題　１２	問題　１３	問題　１４	問題　１５	問題　１６	問題　１７	問題　１８
A	B	B	B	A	B	A	C	B

問題　１９	問題　２０	問題　２１	問題　２２	問題　２３	問題　２４	問題　２５	問題　２６	問題　２７
B	A	B	A	B	A	B	A	B

（問題28～30は【○・×】のいずれかを記入してください。）

問題　２８	問題　２９	問題　３０
×	×	×